

タービー®の治療を受けている患者さんとそのご家族の方へ

以下の症状があらわれた場合は、すぐにタービー®治療担当医療機関にご連絡ください。また、緊急時は救急医療機関を受診してください。

サイトカイン放出症候群(CRS)： RMP

- ・発熱(38度以上)
- ・息が苦しい
- ・寒気、悪寒がする
- ・頻脈(脈が速い)
- ・頭が痛い

- ・めまい/ふらつき

神経学的事象(免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群(ICANS)含む)： RMP

- ・頭が痛い
- ・けいれん発作
- ・ギクシャクした動き
- ・筋肉のこわばり
- ・しびれやうずき(「ピンや針で刺した」ような感覚)
- ・筋肉のけいれん
- ・歩行が困難
- ・体がうまく動かせない
- ・ものが二重に見える
- ・焼けるような痛み、ズキズキする痛み、刺すような痛み

- ・混乱する、方向感覚を失う
- ・記憶の喪失
- ・落ち着かない
- ・注意力や意識の低下
- ・うまく話せない、会話が理解しにくい
- ・眠気
- ・ふるえ(振戦)
- ・気がわからない
- ・耳が聞こえにくい
- ・頭の回転が鈍くなる、又は考えにくくなる
- ・顔の表情が作りにくい
- ・体のバランスが保てない
- ・目の動きが止められない

タービー®治療中に、他の薬を服用するときは、服用前に必ず主治医に確認してください。



- ・上記のような症状があらわれた場合は、すぐに主治医に連絡するか、救急医療機関を受診してください。
- ・上記の症状はタービー®の治療で起こりうる症状のすべてではありません。
- ・上記の症状以外にも、気になる症状があれば、主治医へ連絡してください。

注意事項： 漸増期の投与後は48時間入院していただく必要があります。また、漸増期の投与から48時間経過後及び継続投与期の投与後も入院していただく場合があります。

© Janssen Pharmaceutical K.K. 2025

タービー®の注意事項等の情報は最新の電子添文をご参照ください。

現在投与量： _____ 年 _____ 月 _____ 日 ~ _____ 日 (投与量 _____ mg/kg)

初回投与日： _____ 年 _____ 月 _____ 日 (投与量 _____ mg/kg)

投与スケジュール： 週に1回 2週に1回 (_____ 年 _____ 月 _____ 日より)

担当医師名： _____

医療機関名(電話番号)： _____ (_____)

△ この患者さんは、タービー®による治療を受けています

タービー®治療の担当医師が、本剤の処方に基づいて本カードを記入し、患者さんへ渡してください。

タービー®に関する安全性情報：タービー®は、重大な副作用として、生命を脅かす又は致死的なサイトカイン放出症候群(CRS)および免疫エフェクター細胞関連神経毒性症候群(ICANS)を含む神経系事象があらわれるおそれがあります。また、CRSにより、多くの臓器の機能不全を起こす可能性があります。